

周南市立新南陽市民病院新改革プラン

令和2年度 目標達成に向けた取組の実施状況

目標達成に向けた取組 (改革プランP.6~8)	実施状況(主な事例)等	評価
① 入院患者数増加への取組	1日平均入院患者数:107.9人(目標135人)対前年比 ▲17.8人(14.2%) ※ コロナ陽性患者受入れ(R3.1.14~R3.3.31)	B
(ア) 外来患者数の確保	①地域連携の強化、②アンケート調査の実施(コロナのため中止)、 ③接遇研修会の開催(コロナのため中止)	A
(イ) 具体的な目標の設定	診療科別に設定 → 病院経営連絡会議で協議	A
(ウ) 急患・救急患者への対応	救急車搬送患者数: 697人 対前年比 +1.6% 時間外救急患者数: 1,071人 対前年比 ▲13.6% ※連携強化、積極的な受入	A
(エ) 地域連携の強化	地域連携室が核となり調整 紹介率:76.3% 対前年比 +21.3% 逆紹介率:51.2% 対前年比 +14.0%	A
② 外来患者数増加への取組	1日平均外来患者数:237.0人(目標252.0人)対前年比▲10.1人(4.1%) ※ 発熱外来(R2.5~)の設置(コロナ対応)	A
(ア) 地域医療への貢献	新南陽市民病院の果たすべき役割(新改革プランP.4)の実践 → 中須診療所へ医師(H23.2~)、看護師2人の派遣(H23.4~):毎週木曜日午後 鹿野診療所へ医師(H28.4~):毎週木曜日午後 福寿荘の嘱託医(H30.4~):月4回 ※ 発熱外来(R2.5~)、診療・検査医療機関(R2.11~)、地域外来・検査センター(R2.9~):毎週月・水曜日午後(以上、コロナ対応)	A
(イ) 地域連携の強化	市民公開健康講座及び各種イベントの開催(コロナのため休止) 病院等の訪問・協議による病病・病診連携の強化	A
③ 主な収入の増加・確保対策		B
(ア) 医師の確保	山口大学との信頼関係の維持、泌尿器科常勤医確保(R01.10~)	A
(イ) 外来化学療法への取組	外来化学療法加算Ⅱ → Ⅰに変更(R1.10.1)	A
(ウ) クリティカルパスの活用	パスの活用による計画的な入院及び平均在院日数の短縮 平均在院日数:14.8日 対前年比 ▲3.0日	A
(エ) NST(栄養サポートチーム)の設置	NST勉強会実施、カンファレンス及びラウンドの実施、加算の取得(H30.9~)	B
(オ) 適切な診療報酬の確保	栄養サポートチーム加算の取得(H30.9~) 患者サポート体制充実加算の取得(H30.12~)	B
(カ) 健診及び人間ドックの増加	健診及びドック件数:1,170件 対前年比▲1件 関連施設等の職員健診およびインフルエンザ等予防接種の実施、周南市と共同で大腸がん検診の啓蒙活動(コロナのため中止)	A
(キ) 透析の増加	維持透析患者数:31.7人(目標34人以上)対前年比▲3.2人(9.2%) クール数変更 1.5クール → 2クール (H29.4~)	B
(ク) 未収金への対応	未収金予防・回収のためのマニュアルの整備・実践	B
④ 主な経費の削減・抑制対策		A
(ア) 医療機器等の計画的導入	医療機器選定委員会の開催	A
(イ) 医療材料の適正管理	診療材料管理システムによる適切な在庫管理、棚卸の実施(年2回)、 医療材料選定委員会の開催(年3回)	A
(ウ) 院外処方への積極的な推進	外来院外処方率:95.6% 対前年比 +0.8%	A
(エ) その他の費用の削減	薬品費、委託費等の見直し	A
⑤ その他の主な対策		B
(ア) 職員の意識改革	病院経営連絡会議(医師、事務方で構成)の開催 運営委員会、病院等連絡会議等で経営実態情報の共有化	A
(イ) 患者サービスの向上	サービス向上専門委員会の開催(4回) 外来及び入院患者アンケート調査の実施(コロナのため中止)	A
(ウ) 部門別収支管理の実施	経営分析資料作成による目標設定及び管理	C
(エ) 広報活動の強化・充実	病院ホームページの充実、病院だよりの発行、病院等訪問、 看護の日記念行事、救急の日、糖尿病週間行事等各種イベント活動(コロナのため中止)	B
(オ) 人材確保・人材育成	随時募集の実施、勤務環境の改善	B
(カ) TQM活動の推進	TQM推進委員会の開催、TQM活動発表に関する大会開催要領および採点シートを作成 TQM活動発表大会開催(R1.12.2)	A

※ 当年度はコロナ感染症対応の影響を考慮して評価を行った。

【評価基準】 A: 目標どおり達成 B: 概ね達成(70%以上) C: ある程度達成(40~70%未満) D: 達成できてない(40%未満)